



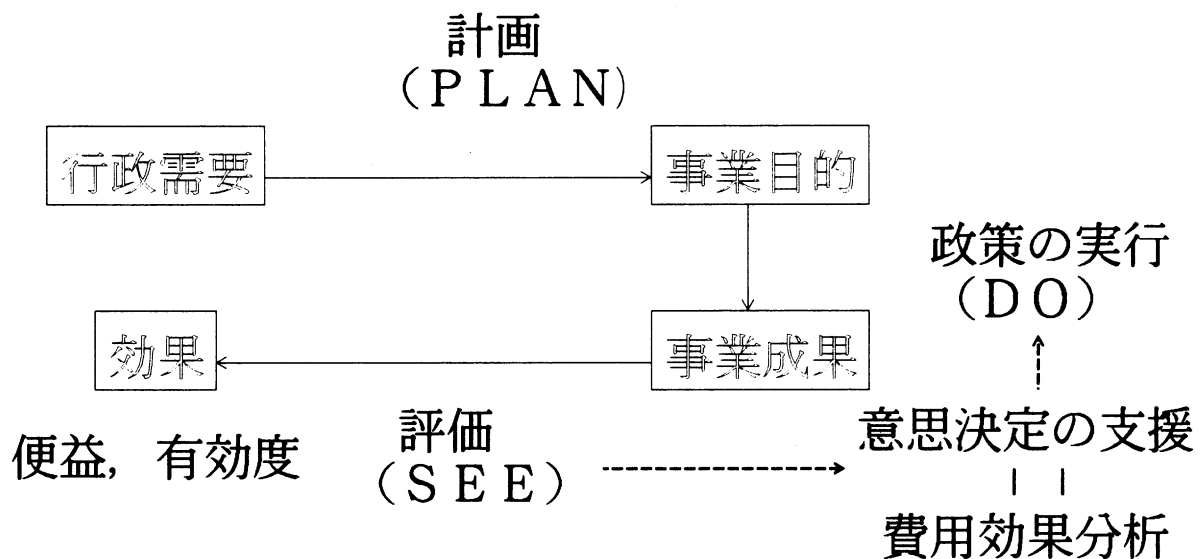
慶應義塾大学ビジネス・スクール

大川端再開発事業に関するノート

A 費用効果分析の手法

都市再開発事業のような、公共性の高い事業の分析手法として、「費用効果分析」がある。公共的な事業には、地域住民や一般国民の社会的ニーズを基本に、一定の事業目的が定められる。そしてその目的を達成すべく、現実に財の供給や施設の建設、あるいは各種サービスの提供といった個々の具体的な政策が実行されることになる。しかし、そのような政策によってどれだけの社会的効果が生み出されるか、政策実施のためにはどれだけの社会的費用が必要なのか、を測定することにより、事業目的の達成度を評価し、さらにその評価に基づいてはじめて、複数の代替案の中から最適な案を選択し、政策実行の是非を意志決定することが可能になるのである。つまり、「費用効果分析」は、公共的な諸政策の実行に関わる意志決定を行なうための手法である。

図1 政策の目的，実行，評価の関係



(「公共施設のシステム分析」 公文俊平他 経済企画庁 1973年 を参考)

このケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科藤枝省人教授が同大学院卒業生の飯泉数弥氏の協力を得てクラス討議の基礎資料として作成したものであり、経営上の適切もしくは不適切な状況処理を例示しようとするものではない。(1991年3月作成)